



道

地図を見るとわかりますが、サンフランシスコは碁盤みたいに道が作られています。それぞれの通りに名前があって、迷ったら交差点に行って通りの名前を確認して地図と照らし合わせれば迷いません。

それと日本の道路に比べてかなり広いです。一本の長いまっすぐな道になっていることが多いので、坂の上から見下ろすとすごく奇麗。

ファーストフード店の中で

これ個人的にすごくびっくりしました。
ケチャップは自分で好きなだけ注ぐんですね。
ちなみにこれはIN-N-OUTの写真です。
すごくおいしくて一人で行きました。



交通機関とか



バス停

まず日本と違って時刻表がありません。

わかりやすいバス停とわかりにくいバス停がありますがこれはわかりにくいほうです。

わかりやすいほうは屋根があつたり地図があつたりします。

この看板の番号はここに停まるバスの番号なので、このバス停で目的のバスに乗れるかどうか一目瞭然ですね。

もっとわかりやすい写真を撮ればよかったです。

バスの中のケーブル


この写真だと少しわかりづらいですが、バスの中のサイドにケーブルがあります。

これを下に引っ張ると次のバス停で降りますよという意思表示になります。

日本とちがって少しアナログチックだなと思いました。

まだ一度も触れられていないので一度はやってみたいですね。





バス用の電線

本当に電線なのかよくわかりませんが道路の上に張り巡らされています。

バスに直接つながっているのもので電線だと思いました。

すべてのバスが電線につながっているわけじゃないみたいです。

よくわかりません

バスのチケット

バスに乗りお金（2ドル）を機械に入れるとこれをもらいます。

切り取られた部分の時間までmuniバスは乗り放題という意味みたいです。

日本では乗り継ぎたいときはそれぞれのバスで支払わなければ行けないし、バス代も馬鹿にできないのですごく便利だなと思いました。

後ろの入り口から乗れば無賃乗車できるって言ってましたが、もし警察がのってきたら怖いことされるみたいなので毎回払うようにしています。





電車の券売機

この写真はカルトレインの券売機です。

カードか現金を使うことができます。

上の方にゾーンが書かれているのはいいのですが、BARTのときもカルトレインのときもチケットの買い方がわからず、一回調べました。

カルトレインはお金をすべて選択した後にお金を払うだけなので簡単でしたが、BARTは少し複雑でした。

アメリカの交通機関の金銭区分はすごく大雑把だと思います。

うまく時間を使えば安く移動できるということでもありま

カルトレインには 改札がない！



写真におさめるのを忘れてしまったのですが、初めてカルトレインに乗ったのはMillbrea駅で改札がなくて本当に乗っていいのかすごく不安でした。San francisco駅ではホームの入り口に駅員さんがたつてチケットを確認していたけれどそれだけです。一駅くらいなら簡単に無賃乗車できちゃいそうでこわいです。

これまでに生活していてあ、と思っ
て写真を撮ったのはこれくらいで
す。

実際はもっとあったと思いますが覚
えてません。

残りの日数でまだなにかあればまた
簡単にまとめます。